

# 総務産業建設常任委員会活動報告

## 6月定例会

6月定例会では、所管各課における重点施策等の進捗状況の調査を行った。

### 総務部門

6月9日(木)開催

**問** 重点施策の位置付けは  
(外川 善正議員)

**答** 予算要求時に企画担当所管課と連携を図り、重点施策を決定している。また、町の政策推進会議等で報告・協議を行って進捗管理を行っている。

**問** 行財政改革大綱の  
中間見直しについて  
(上田 太治議員)

**答** 検討委員は、学識経験者、自治体の行財政改革を専攻されている教授、民間事業者等

に依頼する。12月の答申前に議会へ報告する。

**問** 減少傾向にある  
消防自警団員の現状は  
(高橋 正夫議員)

**答** 自警団班長会議やチラシで団員募集している。災害が起きた場合、地域住民や自治会による自発的な活動が重要となるため、今後も自警団の必要性・重要性を一層周知していく。



消防ポンプ操法の様子

**問** 「DX化」における  
メリット・デメリットは  
(森野 隆議員)

(村田 定議員)

**答** 初期投資が必要であるが、自治体間の共同利用により、コスト削減が見込める。ただし、部分的にデジタル化へ移行する事業は、職員負担が増えることも考えられる。学校ICT化のメリットは大きい。職員育成においては、各課に担当を配置する予定である。

※DX化とは、デジタル技術を浸透させ、生活をより良いものへ変革すること。

**問** 人権尊重のまちづくり  
推進基本計画について  
(瀧 すみ江議員)

**答** ジェンダー、新型コロナウイルス等、新しい人権問題についてもしっかりと取り組んで、計画に盛り込む予定である。

### 産業建設部門

6月10日(金)開催

**問** 農地を含めた  
空き家の利活用  
(小菅 久宣議員)

(小菅 久宣議員)

**答** 農地保全は、多様な担い手へと農地法の緩和が進んでいる。町農業委員会では地続きの農地は空き家と一体管理として、所有権移転できるよう指導している。農業振興地域は地元農業組合に地元農業者を紹介いただいているのが現状である。

**問** 陥没している町道の  
状況確認について  
(外川 善正議員)

(外川 善正議員)

**答** パトロールを実施しているが、全ての町道を計画的に実施しているものではない。地域の方から通報があった際は、現地を確認のうえ、課員による緊急対応を実施している。

**問** 観光周遊ルートの  
啓発について  
(瀧 すみ江議員)

(瀧 すみ江議員)



施工中の長野外周道路3号線

**答** 旅行会社などを対象にツアーを実施し、開発した周遊コースを専門的に調査し、弱みは強い強みは伸ばす。

**問** 長野外周道路と  
他事業との兼ね合い  
(小菅 久宣議員)

(小菅 久宣議員)

**答** 町単費の継続事業である。外周道路や不飲川、愛知川右岸道路も併せて、圃場整備事業と一体で実施していく必要がある。

# 教育民生常任委員会活動報告

## 6月定例会

6月定例会では、所管各課における重点施策等の進捗状況の調査を行った。

### 民生部門

6月13日(月)開催

**問** マイナンバーカード  
普及について  
(澤田 源宏議員)

**答** 6月末から新たに保険証利用および公金受取口座の登録によるマイナポイントの付与が始まる。窓口にてチラシ等を配布している。操作方法、受取方法等で可能な限り支援している。

**問** 歯科保健事業について  
(村西 作雄議員)

**答** フッ化物洗口開始後、むし歯の数は減少傾向にある。

乳幼児健診では、子どもの歯科健診だけでなく保護者の歯科健診も行っており、親へも歯と口の健康について考えてもらえる機会としている。



「1口プラス10回噛もう!!」

**問** 保育士確保について  
(辰口 保議員)

**答** 保育士紹介バンクが効果的で、民間保育園が利用されている。町の保育士人材バンクは、パートとして勤務を希

望される方が多く、時間帯に合う求人情報があればマッチングを行っている。



リニューアルされる「ふれあい広場」

**問** ラポール秦荘ふれあい  
広場の遊具改修について  
(久保田 正利議員)

**答** 工事期間は、利用者が少ない10月から3月までを予定している。工事期間中、代替施設の設置は考えていない。

### 教育部門

6月15日(水)開催

**問** びん手まりの  
びん購入について  
(中川 喜代和議員)

(中川 喜代和議員)

**答** 町外の方が、大きいびんを購入することは、県伝統的工芸品指定との兼ね合いがあり、難しい問題である。びん手まりを製作する年1回の観光事業の回数を増やすなど、改善に向けて引き続き検討する。

**問** これからの  
図書館づくりについて  
(辰口 保議員)

(辰口 保議員)

**答** 知識と情報を分けて考え、子どもから高齢者までの知識を担保する。また、学校図書館では、子どもたちの知識を高めていくことが必要である。電子図書などの情報についても、情報の拠点として町立図書館が機能するように、今後の動向を見極めていく。

**問** 国スポ・障スポ会場の  
施設改修について  
(村西 作雄議員)

(村西 作雄議員)

**答** 会場レイアウトの決定により施設改修等が発生すれば、国や県の補助メニューを活用して実施すべく県と協議しているところである。

**問** 減メディア・  
親読書運動について  
(河村 善一議員)

(河村 善一議員)

**答** 家庭との連携は必須であり、読み聞かせや自立した読書など両輪でつながるような取り組みを実施する。



学校で利用している朝5分ドリル